2013年度「研究部会活動記録」

部会主任名	田中 愛治	現代政治経済研究所
研究課題 ：コンピュータ支援型自記式（CASI）世論調査と熟慮反映型（MP）世論調査の方法論的検討と政治経済学実験の導入		
月/日	活 動 記 録	
6 月 3 日 (月) 18 : 30~20 : 00	CASI世論調査と熟慮反映型（MP）世論調査の実施計画策定 ー科学的研究費・基盤研究（s）の採択を受けてー 発表者：田中 愛治（早稲田大学政治経済学術院教授） 場所：現代政治経済研究所会議室（1号館2階）	
7 月 4 日 (木) 18 : 30-20 : 00	後援会動員と日本の有権者：世論調査モード間比較 発表者：遠藤 晶久（政治経済学術院助手） 場所：8号館501会議室	
8 月 2 日 (金) 15 : 00 ~ 18 : 00	討論型世論調査が明らかにした新たな人間像 ー熟議空間は参加者に何をもたらしたのかー 発表者：松原真倫（慶應義塾大学大学院政策メディア・研究科後期博士課程、日本学術振興 会特別研究員（DC1）） 場所：現代政治経済研究所会議室（早稲田キャンパス1号館2階）	
1 1 月 7 日 (木) 12 : 00-13 : 45	熟議民主主義理論の動向と課題 発表者：三村 憲弘（早稲田大学現代政治経済研究所研究次席研究員） ：坂井 亮太（早稲田大学現代政治経済研究所研究助手） 場所：早稲田大学 1号館404号室	
1 2 月 2 6 日	<i>Institute for Research in Contemporary Political and Economic Affairs Working Paper Series No.</i> E1310発行	
1 月 1 5 日 (水) ~ 2 5 日 (土)	政治経済に関するアイトラッカー実験実施 場所：8号館501号室	
2 月 1 3 日 (木) 15:00- 18:00	熟議民主主義理論におけるミニ・パブリックス論の位置と課題 発表者：田村 哲樹（名古屋大学大学院法学研究科 教授） 場所：早稲田大学 26号館（大隈タワー）1202号室	
3 月 3 日 (月) 10:00-	熟議民主主義の過去と現在 共催：政治経済学会	

11:30	司会：井上 弘貴（神戸大学国際文化学研究科准教授） 報告：秋田 真吾（神戸大学国際文化学研究科博士課程）「世紀転換期アメリカにおける民主主義の「再生」運動—ラフォレット州知事下のウィスコンシン州の事例を中心に」 討論者：石川 敬史（東京理科大学基礎工学部講師） 報告：坂井 亮太（早稲田大学代政治経済研究所研究助手）「熟議体における理由の提示がもたらす困難と可能性—Deliberative Pollingの調査手法に対する一提案」 討論者：奥島 真一郎（筑波大学システム情報工学研究科准教授） 場所：11号館 506号室
3月3日 (月)12:30-14:00	アイトラッカーを利用した政治学実験の地平 共催：政治経済学会 司会者：荒井 紀一郎（早稲田大学政治経済学術院助教） 発表：稲村 勇輝・劉 凌（早稲田大学政治学研究科修士課程）「政治情報への選択的メカニズムを実験的に考察する」 発表：加藤 言人・岡澤 駿（早稲田大学政治学研究科修士課程）「候補者選択の説明要因としての注視割合と投票コンテキスト—アイトラッカーによる注視時間の計測と実験—」 討論者：井出野 尚（早稲田大学文学部非常勤講師） 場所：11号館 503号室
3月3日 (月)16:30-18:00	アイトラッカーを利用した経済学実験の地平 共催：政治経済学会 司会者：船木 由喜彦（早稲田大学政治経済学術院教授） 徐 艶芳（早稲田大学経済学研究科修士課程）「私的情報ゲームに関する情報認識の研究 —アイトラッキング実験とマウストラッキング実験の比較研究」 栗原 崇・小林 伸（早稲田大学経済学研究科修士課程）「戦略形ゲームにおけるアイトラッカー実験—情報取得行動と戦略選択の関係」 討論：井出野 尚（早稲田大学文学部非常勤講師） 場所：11号館 503号室
3月7日	世論調査データベースの維持・管理
来年度の 活動計画	・エリス・クラウド教授（カリフォルニア大学サンディエゴ校）による日米関係や国際政治経済に関する講演 ・熟慮反映型世論調査に関する研究報告
終了の場合	研究成果刊行の時期： 年 月（予定） 研究成果の公開方法：